

# いじめ問題に立ち向かう

-27-

## 予防教育⑤

「予防教育の光景」この予防教育の良さをすんなり納得できるかどうかの分かれ目は、子ども目線に立てるかどうかだと開発者が言っていた。また、

を対象にして、授業の実際例を紹介している。今回は、授業では最も重要と言えるところから続く。

⑤活動クライマックス 「足したら3だよ、じゃんけんゲーム！」。割れんばたる。グループの誰もが笑

顔を黒板前に出る。教師が取るリズムで一人ずつ自分の良いところを発表していく。発表が終わった。これで終わりかと思っ

たら、スクリーンにスペイン語のアニメが出る。「豆の木が伸びて、ピーターが天まで届きますように。みんなの良いところパワーを送ろう」「天まで届けー！」。

この授業は単調さとは無縁だ。途中で鬼が出て、ピーターを追い掛ける。鬼は退治だと、スーパーモグラ(モグラマン)登場。良

# 「じゃんけんゲーム」やアニメで声援

この教育は見るのも楽しいが、授業をやってみるともっと楽しいと言っていた。

機会があつてやってみたい。確かにその通りだ。この教育をやるとアラスシかないと確信した。という私は、子ども目線に立てたというのか。確かに、実に楽しい時間が流れた。

かきの拍手と歓声。3時間目になると、児童もこの教育に慣れてきた。例のごとく、児童が自然と発表できるお膳立てをする。今回は、体全体を使ってするじゃんけんだ。0から3までのジエスチャーを練習。スクリーンに出る女兒とじゃんけんをして、女兒の数字と足して3なら勝ちという仕組み。誰が考えた? こんなじゃんけん。

「ドーン、ドーン、ドーン、ドーン」太鼓の音だ。みんな、足をたいてリズムを取っている。「足した

じゃんけんゲームを楽しむ児童(徳島県藍住町立藍住西小学校)④、ピーターを追い掛ける鬼、助けるモグラマン⑤

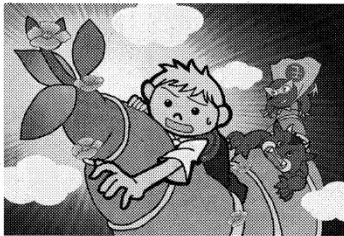
を雲上の城に届ける。おっと、鬼の手がピーターの足を。モグラマンが気負って、豆の木から落ちる。児童は必死だ。「モグラマンを助けなきゃ。みんなの良いところパワー爆発！」。

フレンドボードが各グループに戻され、総立ちで各自の良いところを叫ぶ。「モグラマン、カモン」。いよいよ最後。荘厳な音楽が流れてきた。その音楽に乗って、授業者は授業のまとめを行う。感動的な話しぶりだ。ずっしりと胸に響く。児童は微動だにしない。

山崎 勝之 鳴門教育大学大学院教授 予防教育科学センター所長



「前回は、小学3年生の自己信頼心(自信)の育成



「ドーン、ドーン、ドーン、ドーン」太鼓の音だ。みんな、足をたいてリズムを取っている。「足した

⑥シェアリング 活動クライマックスが終わると授業